

令和 8 年度  
人間総合科学大学  
保健医療学部

学校推薦型選抜 A 日程 小論文試験問題

試験日：令和 7 年 11 月 16 日（日）  
試験時間：9 時 15 分～10 時 15 分（60 分）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題を見てはいけません。
2. 「受験票」は机上の見やすいところに置いてください。
3. 試験監督者の指示したもの以外は机上に置いてはいけません。
4. 問題用紙、解答用紙には必ず受験番号及び氏名を記入してください。
5. 問題用紙、解答用紙は全て回収しますので、持ち帰らないでください。
6. その他、試験監督者の指示に従ってください。

令和 8 年度 人間総合科学大学 保健医療学部  
学校推薦型選抜 A 日程 小論文試験問題

問 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

べらべらしゃべれることや、間髪容れずに話を切り返せることは、必ずしも美德ではない。むしろ私たちは、秒単位のタイムスタンプが押された言葉がネット上を無数に流れ続けるこの時代だからこそ、言い淀む時間こそを大切に、言葉をゆっくりと選び取りながら語る実践に意識的に向かうべきではないだろうか。ステレオタイプな言説によって多様な現実をぱっと一括りにして済ませたり、当意即妙な受け答えをすることそれ自体を目的とする実践よりも、現実の難しさや複雑さを受けとめた言葉を慎重に紡ごうとする実践の方を尊重すべきではないだろうか。

ただ、そうした実践には、どうしても時間や労力がかかるという特徴がある。ステレオタイプな言説に頼らずに別の言葉を探すのは、なかなか骨の折れる作業だ。現実をよく見ながら、〈この言葉ではまだしっくりこない〉、〈この言葉では……過ぎる〉と迷いつつ、しっくりくる言葉が訪れるのを待たなければならない。それゆえ、話を聞く方も待たなければならない。お約束通りではない生きた言葉が探され、交わされるには、話し手と聞き手双方の待つ努力が欠かせないのだ。

（古田徹也：いつもの言葉を哲学する，朝日新書，2021）

問題 1 本文を読んで、「対話」について筆者が述べたいことを、100 字以内で説明してください。

問題 2 本文を読んで、「対話」について、あなたの考えを、具体的な例や事実を入れて 600 字以内で述べてください。

（以下余白）

|         |     |
|---------|-----|
| 受 験 番 号 | 氏 名 |
|         |     |